

本学の在学生及び卒業生がロンドンオリンピックに出場



保科知彦選手



木村文子選手

本学の在学生及び卒業生の2名が、2012年7月27日(金)から8月12日までロンドンで開催されたオリンピックに出場しました。

一人目は、教育学研究科大学院生 保科知彦選手で、柔道競技フィリピン代表として男子100kg超級に出場しました。保科選手はこれまでも柔道フィリピンナショナルチームの一員として、世界選手権等に数多く出場してきました。現在、本学大学院に在籍しながら、私立高等学校の教員として生徒指導にもあたっています。

二人目は、教育人間科学部卒業生 木村文子選手

で、陸上競技日本代表として女子100メートルハードルに出場しました。木村選手は、本学在学中も陸上部に所属し、全日本学生選手権で優勝するなどの好成績を残し、卒業後はエディオンに入社、数々の大会での優勝を経て、今回オリンピック出場を果たしました。

今回、オリンピック出場の結果としては、残念ながら2人とも予選敗退となりましたが、この経験を生かし、今後も活躍してくれることを期待しています。

本学学生が「MOS世界学生大会2012」で世界第2位の快挙！

2012年7月29日(日)～8月1日(水)(現地時間)、[MOS世界学生大会2012]決勝戦がアメリカのラスベガスで開催され、日本代表としてワード2007部門に出場した本学工学部生産工学科4年 星野亜衣さんが、世界第2位に輝きました。

「MOS世界学生大会2012」には、日本からの延べ6万5千人の参加を含め、世界53カ国から延べ52万1千人もの学生が参加し、その中から選ばれた各国の代表がそれぞれワード、エクセル、パワーポイントのスキルを競いました。

決勝戦を終えた星野さんは、次のように感想を述べていました。

「表彰式で名前を呼ばれたときは、大変驚きました。また、海外の学生との交流を通して異なる文化に触れたことで、物事に対する考え方が変わり、視野が広がりました。学生の中にこのような貴重な体験をする機会に恵まれたことを嬉しく思います。」

今後のさらなる活躍を期待します。



学生サポート拠点「学生センター」の設置

2012年8月、今まで学内のいくつかの建物に分散していた学生に関する機能を集約し、「学生センター」がスタートしました。

学生センターは、広大なYNUキャンパスのほぼ中央に設置され、一元的に学生を支援します。新たな取り組みとして、学生向けの「何でも相談室」を新設し、より充実した学生生活を送れるようサポートします。

1階…「ナビ・ポート」(1階ホール)。2階・3階へのエントランスだけでなく、大学から学生への情報発信基地となります。

「保健管理センター」。相談員を増やして学生の心と体の健康をサポートします。

2階…「学生支援課」と「教務課」。そして学生の「何でも相談室」。

履修や学業だけでなく、日常生活や恋の悩み?まで、何でも相談にのります。

「何でも相談室」には相談職員が常駐します。



3階…「入試課」と「キャリア・サポートルーム」。YNUの“入口”と“出口”が同居しました。これから横浜国大生を目指す高校生や受験生は、入試情報や入学相談だけでなく、就職状況も聞くことが出来ます。また、在学生には就職情報、就職相談、模擬面接など、様々な就職支援を行います。

学内保育所「森のルーナ保育園」が開所

2012年4月にYNUキャンパス内に認可保育所として学内保育所「森のルーナ保育園」が開設されました。「森のルーナ保育園」という名称は緑豊かな本学をイメージしています。

6月11日に行った開所式では、当日は、鈴木学長、鈴木保土ヶ谷区長の挨拶に続き、園児も見守る中、鈴木学長、鈴木保土ヶ谷区長、白井明真会理事長、野武園長、有澤常盤台地区連合町内会長の皆さんによる、テープカットセレモニーが行われ、森のルーナ保育園 野武園長の案内により内覧会が行われました。

木をふんだんに利用した教室、広々としたオープンスペースなどの施設に加え、全面に広がる緑の木々が美しく、内覧会に参加した教職員からは、自分の子供もこの様な保育園に預けたかったとの声も



聞かれました。

今後は保育学実習の場としての活用など、本学の教育・研究活動との連携も進めていく予定です。